



平成28年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月6日

上場取引所 東

上場会社名 フロイント産業株式会社

コード番号 6312 URL <http://www.freund.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伏島 巖

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 高波 裕二

TEL 03-5292-0240

四半期報告書提出予定日 平成27年7月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第1四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	3,002	△14.4	△24	—	△0	—	△29	—
27年2月期第1四半期	3,506	△24.7	△20	—	△0	—	△29	—

(注) 包括利益 28年2月期第1四半期 △105百万円 (—%) 27年2月期第1四半期 △98百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第1四半期	△3.38	—
27年2月期第1四半期	△3.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
28年2月期第1四半期	16,761	—	10,802	—	63.4	1,232.28
27年2月期	17,277	—	11,180	—	63.6	1,274.37

(参考) 自己資本 28年2月期第1四半期 10,625百万円 27年2月期 10,987百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	30.00	30.00
28年2月期	—	—	—	—	—
28年2月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成27年2月期の期末配当金内訳 普通配当 25円00銭 記念配当 5円00銭

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,000	△5.0	250	147.3	260	84.3	135	273.9	15.66
通期	18,500	6.2	1,350	17.4	1,370	9.6	800	14.9	92.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年2月期1Q	9,200,000 株	27年2月期	9,200,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年2月期1Q	577,722 株	27年2月期	577,722 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年2月期1Q	8,622,278 株	27年2月期1Q	8,622,299 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
5. 補足情報	10
受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安基調の定着による企業収益の拡大や、雇用情勢の改善、株高を背景に、緩やかな回復基調となりました。一方で、円安進行による輸入コストの上昇や、海外景気の下振れリスクなどの懸念要因もあり、先行き不透明さは残る状況となっています。

当社グループの主要ユーザーであります医薬業界は、大型製品の相次ぐ特許切れの影響に加え、研究開発費の高騰と開発リスクの増大などにより、先進国を中心に成長が鈍化しており、新興国への市場移行が進んでいます。また、政府による医療費抑制策の強化により、ジェネリック医薬品の利用促進の動きが加速するなど、国内においてもジェネリック医薬品の市場拡大が進んでいます。

こうした情勢のもと、当社グループは、独創的な新製品の開発により、顧客ニーズを捉えた営業活動を展開するとともに、積極的に新分野への展開を図ってまいりました。

この結果、売上高30億2百万円（前年同期比14.4%減）、営業損失24百万円（前年同四半期は20百万円の営業損失）、経常損失0.4百万円（前年同四半期は0.7百万円の経常損失）、四半期純損失29百万円（前年同四半期は29百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

・機械部門

造粒・コーティング装置を主力とする機械部門においては、ジェネリック医薬品業界の旺盛な設備投資意欲により、国内医薬向けの受注高は引続き好調に推移したものの、装置の大型化などによる納期の長期化などにより、国内部門は減収、減益となりました。また、米国子会社FREUND-VECTOR CORPORATIONは、海外マーケットへの積極的な事業展開により増収となりましたが、固定費のリカバリーはできなかったものの、損失額は減少となりました。

この結果、売上高は18億26百万円（前年同期比1.7%増）、営業損失は9百万円（前年同四半期は47百万円の営業利益）となりました。

・化成部品部門

化成部品部門においては、医薬品添加剤、食品品質保持剤は堅調に推移しましたが、当社技術を活用した栄養補助食品は、主要顧客の生産調整の影響を受け、売上高は減少となりました。一方で、稼働率アップと原価低減などを推し進めた結果、営業利益は微増となりました。

この結果、売上高は11億76百万円（前年同期比31.3%減）、営業利益は81百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億16百万円減少し、167億61百万円となりました。増減の主な要因は、仕掛品が6億10百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が9億97百万円、現金及び預金が1億88百万円減少したためであります。

また、当第1四半期連結会計期間末の総負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億38百万円減少し、59億58百万円となりました。増減の主な要因は、前受金が4億98百万円増加したものの、未払法人税等が2億65百万円、電子記録債務が2億20百万円減少したためであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億77百万円減少し、108億2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の業績予想につきましては、本資料の公表時点において、平成27年4月8日の決算短信で発表しました第2四半期連結累計期間及び通期業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(特定子会社以外の子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間よりFREUND INTERNATIONAL, LTD. は、FREUND-VECTOR CORPORATIONを存続会社とする吸収合併を行ったことにより、連結の範囲から除外しております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間を基に算定した単一の割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が4,112千円増加し、利益剰余金が2,782千円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,870,566	4,682,307
受取手形及び売掛金	5,266,889	4,269,264
電子記録債権	5,578	39,231
商品及び製品	296,478	363,763
仕掛品	931,971	1,542,586
原材料及び貯蔵品	543,437	552,434
前払費用	120,830	116,480
繰延税金資産	256,424	272,408
その他	527,353	522,740
貸倒引当金	△37,370	△37,252
流動資産合計	12,782,160	12,323,963
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,084,608	1,279,613
土地	1,330,712	1,330,641
その他(純額)	988,415	738,526
有形固定資産合計	3,403,736	3,348,781
無形固定資産	146,911	140,060
投資その他の資産		
繰延税金資産	137,768	130,495
その他	812,272	823,307
貸倒引当金	△5,400	△5,400
投資その他の資産合計	944,640	948,402
固定資産合計	4,495,288	4,437,244
資産合計	17,277,448	16,761,208
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,833,333	1,803,049
電子記録債務	953,608	733,371
未払法人税等	332,544	67,432
前受金	1,242,586	1,741,264
賞与引当金	233,683	270,832
役員賞与引当金	59,000	26,250
その他	772,480	661,600
流動負債合計	5,427,236	5,303,802
固定負債		
退職給付に係る負債	187,425	185,854
負ののれん	18,862	16,913
資産除去債務	15,555	15,633
その他	448,129	436,071
固定負債合計	669,973	654,473
負債合計	6,097,209	5,958,275

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,035,600	1,035,600
資本剰余金	1,280,522	1,280,522
利益剰余金	8,816,001	8,525,430
自己株式	△201,313	△201,313
株主資本合計	10,930,810	10,640,238
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,183	46,570
為替換算調整勘定	34,187	△50,322
退職給付に係る調整累計額	△11,208	△11,441
その他の包括利益累計額合計	57,162	△15,194
少数株主持分	192,266	177,887
純資産合計	11,180,239	10,802,932
負債純資産合計	17,277,448	16,761,208

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
売上高	3,506,699	3,002,638
売上原価	2,454,079	1,976,563
売上総利益	1,052,620	1,026,074
販売費及び一般管理費	1,073,496	1,050,574
営業損失(△)	△20,876	△24,500
営業外収益		
受取利息	252	407
受取技術料	3,266	2,133
保険解約返戻金	12,818	—
負ののれん償却額	1,948	1,948
為替差益	—	12,837
その他	6,112	7,725
営業外収益合計	24,398	25,052
営業外費用		
支払利息	1,290	999
為替差損	593	—
貸倒引当金繰入額	1,400	—
その他	963	20
営業外費用合計	4,247	1,020
経常損失(△)	△725	△468
特別損失		
固定資産売却損	375	—
固定資産除却損	35	3,236
ゴルフ会員権評価損	450	—
特別損失合計	860	3,236
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,586	△3,704
法人税等	30,662	28,549
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△32,249	△32,254
少数株主損失(△)	△2,290	△3,134
四半期純損失(△)	△29,959	△29,120

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△32,249	△32,254
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,659	12,387
為替換算調整勘定	△62,835	△85,139
退職給付に係る調整額	—	△233
その他の包括利益合計	△66,495	△72,985
四半期包括利益	△98,744	△105,240
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△92,834	△101,477
少数株主に係る四半期包括利益	△5,909	△3,762

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,794,953	1,711,745	3,506,699	—	3,506,699
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,794,953	1,711,745	3,506,699	—	3,506,699
セグメント利益又は損失(△)	47,666	80,983	128,650	△149,526	△20,876

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△149,526千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

(単位：千円)

日本	北米	欧州	その他	計
3,102,465	195,594	52,395	156,244	3,506,699

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 北米 ……米国、カナダ
- (2) 欧州 ……フランス、英国等
- (3) その他 ……中南米、アジア等

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,826,072	1,176,565	3,002,638	—	3,002,638
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,826,072	1,176,565	3,002,638	—	3,002,638
セグメント利益又は損失(△)	△9,377	81,899	72,521	△97,022	△24,500

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△97,022千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

(単位：千円)

日本	北米	中南米	欧州	その他	計
2,364,438	194,486	112,640	235,098	95,973	3,002,638

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度末より、管理区分の見直しに伴い、従来の「その他」を「中南米」および「その他」に分割しております。

- (1) 北米 ……米国、カナダ
- (2) 中南米 ……ブラジル等
- (3) 欧州 ……フランス、英国等
- (4) その他 ……アジア等

5. 補足情報

●受注及び販売の状況

(1) 受注高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	3,648,495	120.5	3,833,281	105.1
化成品部門	578,863	116.3	508,778	87.9
合計	4,227,359	119.9	4,342,060	102.7

- (注) 1. 化成品部門のうち医薬品添加剤と食品品質保持剤は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。
 2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。
 3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 受注残高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	6,945,485	127.7	8,900,504	128.1
化成品部門	390,285	80.4	391,409	100.3
合計	7,335,771	123.8	9,291,913	126.7

- (注) 1. 化成品部門のうち医薬品添加剤と食品品質保持剤は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。
 2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。
 3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
機械部門	1,794,953	51.2	1,826,072	60.8
化成品部門	1,711,745	48.8	1,176,565	39.2
合計	3,506,699	100.0	3,002,638	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。
 2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。